

警城時報

第七千八百四十四號
昭和三年十月八日
石城郡平野町
印刷所 警城時報社
電話 一四七
代印所 警城時報社
電話 一四七
廣告料 一月十元 三月三十元 半年六十元 一年一百元
印刷部 警城時報社
電話 一四七
代印部 警城時報社
電話 一四七

第七百七銀行休業 預金者殺到し 平署で萬一を警戒

地方取引者から「第七百七銀行は、これは大丈夫だらう」と信用されてきた第七百七銀行では、数日來猛烈な取付けにあつた。遂に拂出しに窮して十五日午後から重役會を招集し協議の結果十七日から一月十五日迄一ヶ月間の休業を發表するに至つた。第七百七銀行は石城郡に於ては平野町に支店を有し小名濱町に出張所あり石城郡の預金六十萬圓、貸出し二十萬圓あり、磐城、平野銀行の休業で比較的信用があつた第七百七銀行の取引者も最近漸く増加した折とてその休業を知るや預金者は續々と平野町二丁目の中支店に押しかけ田中支店長と漆詰談判をなしてゐる有様で、少なからず不穩の形勢あり平署では鴨原高等刑事を銀行に派して警戒せしめてゐる。何は兎もあれ第七百七銀行が店を閉めたので一般では成行きを注意してゐる。休業について田中支店長は語る。

官行製炭 緩和の建議案

縣下における民間製炭業者が、官行製炭のため壓迫され、官行製炭の緩和を建議する。縣下政友大會席上において、問題となり決議中一項目を加へられ、更に目下開會中の本縣會へも古川氏を初め山崎、鈴木(辰)縣議により演進し地方の官行製炭事業の緩和に關する建議案を提出された。即ち官行製炭事業は交通運輸の便を欠き民間木炭採掘業者の手により困難なる箇所若

植田管内 消防檢閲

植田署管内植田、錦、山田三ヶ盛況を極めた。

洪水豫防鐵橋延長で 神谷村民の喜び

石城郡神谷村大字中神谷地内の町村消防組合同秋季檢閲は十五日省線鐵橋延長に短少なる日午前九時より植田町においてため一朝出水の場合に在りては後藤署長その他臨席の上執行し線路の堤防に堰止められたる濁水、地元植田組は警察署前に集流を呑吐する事が出来ず上流一合して定刻を待てば、山田の帶の耕地が冠水する被害少から組は機械器具を携帶して同所にす免れぬものある。右鐵橋の集合各組所定の場所に整列人員延長方に關し地主一同から數年並に服裝点檢機械器具の検査を來所轉仙臺鐵道局に陳情する處、終へて後藤小學校庭に移り山あつたがこの程いよ、聴き濟田、錦、植田の順序にて訓練及びみとなり過般來延長工事中であつた。分列式を行ひ訓評訓示來賓代表が右完成と同時に從來なやま、藤原校長の祝辭三組代表として、掃されるので地主一同の喜び少、それより植田町はつれ並木縣道において各組猛烈な水勢試験をなして午前十一時四十分解散し、たが参加人員六百餘名ガソリン及腕用ポンプにて廿餘頗る壯烈盛況を極めた。

上遠野の山道 縣道編入の陳情

石城郡上遠野村大字根岸より入遠野村を経て三阪縣道に通ずる村道は同地方踴躍、木炭、材木の重要産地として近年自動車等の通行が著しくなつたに伴ひ概ね山間道路に峻且隘隘のため運搬上非常な不便を感じてゐる。共に運搬料金を豫想以上に嵩むといふ有様で斯くては斯業の發展を妨げるに過ぎず、兩町有志連は該道路の縣道編入を熱望して先頃より連名調印を取纏め陳情の準備中であつたが十三日入遠野村長樋口幸右衛門、上遠野村長吉田房吉、赤坂一之助の他入遠野村議数名は陳情書を取まとめ出願希望をそれ、當局に具陳するところあつた。

忘年會の誤り

七十七後援會は、七十七銀行平野支店では這般財界から不感があつてゐる。

刑事の袖を引いた 酌婦三十二名

最近平野町の風紀が著しく亂れ、殊に南町附近酌婦の跋扈が甚し、果實類及副業製糖細工品その他三々毎日常行人の袖を引き迷惑を蒙らせるので平署では十四日かから十六日迄三日間取締りの特別執行を行つた。私刑酌婦の袖を引いて引つばりあげやうとし、た者平野町南町千代の家方酌婦神田サキ外三十一名の多數に達し、右違反の酌婦を平署に呼び常習者を見る可き七名を處罰し他は嚴重説諭の上放逐したが、午後一時から營業主を集め嚴重説諭をなした。

貸家

新川町十七
商店向(月十七圓)
新川町

坑内で即死

宮城縣利府村生れ當時内郷村大字宮城縣炭礦高坂坑運搬夫伊藤勘五郎(五四)は十五日午前十一時頃作業中炭車にはさまれ即死した。

勿來農産品評

石城郡勿來町にては十八九兩日小學時頃作業中炭車にはさまれ即死した。

西洋料理の拵方

イワキ食堂主 森川泰一郎

(一四)

(ア) オイスター・カクテル

材料十人前に付 (酢牡蠣)

- 牡蠣 大八十個
- 油子 大五個
- 醤油 一合
- 砂糖 小匙一杯
- 鹽、胡椒 少量

カキ大八十個、小さきものは百個筈に取りよく水洗ひして更に布巾に取り水気を切つてさつと塩、胡椒をして置きます、別の容器へ油子大五個を二ツ割にして汁をよく搾り出し其の汁が一合に充たない丈け酢を入れ、此酢は、ネガ(西洋酢)なら尚結構です、醤油一合も入れてよく混ぜ合せ、砂糖小匙一杯を入れて味を整へます、此のソースは日本料理で云ふ二杯酢ですから酸味と醤油と半々にするものが適度でありますから、前の油子の搾汁が醤油の量に達しない丈け酢を加へた譯です。

先きに鹽、胡椒して置いたカキをグラス器(アイスクリーム皿様のもの)に大八個宛(小なら十個)盛り先きに搾り出した油子の皮を極く細くせんきざんで料理の最ん中へ散らし、先きに搾えたソースをたつぷりかけて供します。此の料理は洋盆カクテルグラスに入れて出すのが正當だそうですが、それは料理の名前がスタイル(形、姿)によつて付けたからだと、そして極く上品な料理であります。

以上カキ料理は過日當同業組合で發表しましたもので、御宅の近い處のカフェーで御試食下さいませ、そして前述の様に滋養に富んだカキ貝を利用して下さることを、生カキは當組合の何處の店でも廉價で御分けいたすことになつて居ります。

年末年始の贈答品の交換は時節柄見合はず事と致しましたから悪しからず御諒承の程願ひあけます

平町紺屋町

佐藤 作平
佐藤 よね

年末年始の贈答品の交換は時節柄見合はず事と致しましたから悪しからず御諒承の程願ひあけます

平町紺屋町

加納 五郎
加納 てふ

内臓外科専門 藤本 順

骨關節外科

整形外科

産婦人科

外科

産婦人科

木村寅次郎
木村醫院

平町新川町(電話一六四)

滋養、強壯劑として愈々好評

偉大なる薬酒「栗守酒」

朝の一盃は精力の根原、晩の一盃は休眠の助力

栗守酒特約店 大平屋薬店

代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目(電話六四二)

耳鼻咽喉科専門

平町仲田町七一

新築移轉 場所合津醫院
電話五九五番

外科専門

診療科目 一般科、外科、内臓科、花柳病科

診療時間(午前八時より午後九時まで) 但し急患は此の限にあらす

平町田町大通り(電話四三六番) 入院隨意 安齋外科醫院

のんで直ぐ効く

クノール散 定價二十錢・三十錢 五十錢・一圓

一、本剤は神経系の鎮痛強壯内服薬として薬化學的に成功せる新劑なり

一、故に頭痛、頭痛、神経痛、リウマチス等の神経系の諸症、偉大なる効を奏す、直ちに試みよ

一、善は急げ、試験はタツタ五分間

一、當地方信用ある各藥局各藥店に特約販賣せり


特約店 平町五丁目角 山野邊藥局

貸家

白銀町商店向二十二圓
同 同 二十圓
同 同 二十三圓
仲間町同 三圓五十錢
柳町同 十圓
柳町同 六圓五十錢
電話讓渡、貸渡致升
平町白銀町(電話三三三番)

加藤營業所

本劑の偉力により



頭腦を明晰にし 社會の落伍者たる勿れ

平町田町 宇佐美藥局 電話八四三

威權の界斯陽磐 所版活納加 番二〇五・九〇四話電

良品廉賣に勝る商略なし!!!

警城セメント會社特約店

釜屋商店 警城平 電話一九三九番

和洋銅鐵 金物問屋 確實敏捷は久の生命なり!!!

福島縣平町

山崎合名會社 電話(營業部専用)一〇番 (一般用)二七番 振替東京一九七五番

上野車坂四三

東京支店 電話(下谷五七二番) 振替東京六八三二番

醬油と味噌

料理店を譲る

今回支那に歸る事になりましたので

中西料理 雙鶴樓店舖 を安値で立退きのまゝ譲ります

平町南町十七番地 雙鶴樓主人